

肺癌学術講演会



謹啓

初夏の候、先生におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度「**肺癌学術講演会**」を開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。本会は肺癌薬物療法の進歩に伴い、新たな薬物療法をご紹介させて頂き、今後の診療に貢献できればと考へ開催いたします。

お忙しい中大変恐縮には存じますが是非ご出席頂きます様、お願い申し上げます。

敬白

●日時:2014年7月24日(木) 19:00~20:00

●会場:島根大学医学部附属病院

みらい棟4F「ギャラクシー」

島根県出雲市塩冶町89-1 TEL:0853-23-2111

19:00~20:00 (発表50分、質疑応答10分)

【座長】 島根大学医学部附属病院 呼吸器・臨床腫瘍学
教授 礒部 威 先生

特別講演

「What is “Clinically meaningful” in NSCLC ?」

【演者】 新潟大学医歯学総合病院
呼吸器感染症内科/高次救命災害治療センター
特任助教 三浦 理 先生

博士課程選択科目:

臨床腫瘍学V(32)、臨床腫瘍学VI(33)、地域がん治療学(37-1)、
がん医療社会学(37-3)、臓器病態学Ⅲ(65)、薬物動態学I(70)、感染症学I
(83)

当日、軽食を準備させていただきます。

共催:Shimane Medical Oncology Group/中外製薬(株)

後援:文部科学省大学改革推進事業

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

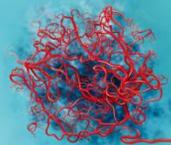


中外製薬



ロシュグループ





Avastin Creating Certain Evolution of Lung Cancer Treatment

